

# 事業計画書

2021年度（令和3年度）

自：2021年4月1日

至：2022年3月31日

一般財団法人 大阪府こども会育成連合会

## 2021年度 事業方針

昨今、少子高齢化や人間関係の希薄化が進み、家庭内での会話の欠如や同年齢との集団遊びの減少、また異年齢間の交流の不足等、子ども達の健全な育成に欠かせない環境が年々減少しております。また最近では年少の頃からスマホを所有する子どもが増え、SNS等のツールを興味半分で利用した結果、事件に巻き込まれたり危険な目に遭ったりするケースが目立つようになってきました。このような社会情勢であるからこそ、こども会の存在意義が益々重要になっていると思います。そのことをもっと深く認識し、指導者・育成者の方々とも連携や共有をしながら支援の輪を広げていく活動を行ないます。

大阪府下でこの10年間位の間には7市町村こ連の解散がありました。現在、大阪市を除き42市町村こ連が35市町村こ連となり、危機的数字としておりました安全共済会加入者数が10万人を割込み、2019年度は9万人台、そして2020年度は新型コロナウイルス感染症という未曾有の災難が降りかかり、一気に6万人台にまで落ち込みました。

コロナ禍以外の原因として、市町村こ連においても役員の高齢化が進み会長や役員のなり手が無い事、また行政も人員削減等に伴い仕事量の負担が増し市町村こ連との連携が難しいとの声も聞かれます。そのような中、こども会活動の手助けとなるよう、地道な取り組みを始めしております。

ひとつは大阪府だけではなく、近畿各府県と連携して相乗効果を生み出す目的で、近畿地区子ども会連絡協議会において3年前から取り組んでいる未来の子ども会のカタチプロジェクトです。その3つの柱、①子ども会育成カード、②防災まちあるき、③子ども会大会、はこれからも内容の工夫改善を積み重ねて継続させて行きます。

- ① 子ども会育成カードで特典が受けられる提携先企業や施設を増やすために訪問活動を続けます。
- ② 防災まちあるきの実施に向けて、現在事務局担当の府こ連が中心になって積極的に推進して行きます。
- ③ 子ども会笑学校が好評の「近畿地区子ども会大会」は2020年度開催が見送られ、2021年度も再び和歌山県での開催予定となりました。(大阪府はその翌年度)

また、現在解散されている市町村こ連の単位こども会及び市町村こ連に属していない単位こども会を対象に直接安全共済会の加入ができるよう特例対応することで会員増加を図りたいと考えています。これには市町村会長・行政・ブロックの理解を得る必要があり、今後も慎重に検討して行きます。

それに関連する事で、行政や共済会担当者また府こ連事務局の負担軽減のために、安全共済会加入方法の簡素化とデータ化の推進についてはあらゆる方策を講じて参ります。

今後もこども会の指導者・育成者が役割を負担に感じることなく、地域の子育てを推進することで、こども会活動の活性化を図り、魅力あるこども会と夢のある地域の未来を築けるよう、支援に努めて参ります。これに府こ連の事業を絡ませて、今までとは一味違った効果を引き出せるように創意工夫を重ねて行く所存です。

# 2021年度事業計画書

## 公益目的事業

### 1. こども会活動の指導及び育成

事業名	内容
1)大阪府こども会大会 安全教育普及モデル事業 「ドッジビー大会」	<p>[目的] こども会活動の活性化と安全なスポーツ活動の運営を考慮しながら、安全教育普及モデル事業としてスポーツ大会を実施する。</p> <p>2015年度より大阪府こども会大会の冠をスポーツ大会(ドッジビー)に付けて毎年開催中。(2020年度は第6回目の大会でしたが、コロナ禍により中止)</p> <p>[概要] 実施時期: 2022年2月26日(土) 交野市いきいきランド交野にて 対象者: 大阪府内こども会員(各ブロックより低学年・高学年推薦) 募集方法: 事業運営委員会にて決定 運営方法: 募集方法と同じく事業運営委員会にて決定</p>
2)未来のこども会のカタチ プロジェクトの推進 2018年度からの(継続事業)  近畿地区子ども会連絡 協議会事業	<p>[目的] 次代の地域を担う子どもたちの社会性、協調性、地域を愛する心を養おうとする本来の目的に基づき、地域の指導者・育成者が役割を負担に感じることなく活動を進める主体者となり、地域の子育て活動を推進することにより、活動の活性化を図り、会員の増強に繋げることを目的とする。</p> <p>[概要] ①子ども会育成カード(SHOWN CARD) 企業や団体の協力を得て、入場料割引、商品購入の割引、プログラムの提供などの子ども会特典が付いた育成カードのQRコードから近畿地区子ども会連絡協議会ホームページに繋がり協力者一覧等情報を掲載している。</p> <p>②自分の住んでいる地域を見直す活動(防災まちあるき) 自分の暮らすまちをよく知るところから、次代のまちづくりを担う子どもを育成する。「参加体験型まちあるきプログラム」を進める。</p> <p>③子ども会大会(子ども会笑学校)の開催(第3回目、和歌山県担当) 従来からの地区研究協議会やジュニア大会、KYT中級指導者研修会、地区推進委員会などブロックで取り組んでいた事業を一括して大会を開催する。</p>

### 2. こども会指導者の養成

事業名	内容
1)大阪府こども会育成者研修	<p>[目的] 市町こ連の役員が、日ごろ直面している育成・指導上の問題点を共有することにより解決策を協議することで、こども会育成者・指導者相互の連携・資質の向上を図る研修会を実施する。</p> <p>[概要] 実施期間: 年1回実施(2021年度からは希望ブロックへ講師派遣する計画) 対象: こども会育成者・指導者・役員 募集方法: 市町村こ連を通じてチラシの配布、当連合会のホームページで開催要項を案内</p>

2) 市町こ連事務担当者会議	<p>[目 的] 市町こ連事務担当者を対象として、2021年度当連合会の事業の概要説明及び安全共済会の事務手続き並びに各ブロックからの選出委員の確認と事務担当者相互の連携をはかる。</p> <p>[概 要] 実施期間： 年1回実施 ⇒ 2021年4月下旬に必要関係書類を送付予定 対 象： 市町こ連事務担当者・安全共済会担当者 募集方法：（今年度は会議を開催しません）</p>
3) 全国子ども会連合会への派遣	<p>[目 的] こども会育成者・指導者が技術を修得し、地域でのこども会活動の活性化を図るため、公益社団法人全国子ども会連合会が開催する各種研修会・講習会へ、こども会育成者・指導者を派遣する。</p> <p>[概 要] <b>(1) 第54回全国子ども会育成中央会議・研究大会</b> 「子どもたちの未来のための子ども会活動」をメインテーマとして開催 <b>日 時： 2021年11月20日(土)～21日(日)1泊2日</b> <b>場 所： 札幌市(開催会場未定)</b> ※全国子ども会育成中央会議・研究大会と併せて表彰式を実施 公益社団法人全国子ども会連合会表彰(育成者・指導者・団体等推薦)</p> <p>[趣 旨] 2019年度に全子連安全共済会の会員数が320万人を下回り、さらなる激しい変化が想定される新しい時代に直面し、子ども達の未来のための子ども会活動とは、社会教育団体としての「子ども会」が子どもの健全育成を通じていかに地域の活性化に貢献できるか等について、全国各地の育成者・指導者が一同に会して英知を寄せ合い子ども会活動の充実、発展を図る。</p>
4) 近畿地区子ども会連絡協議会	<p>[目 的] 近畿地区各府県・指定都市の連携を緊密にして、子ども会の発展を図り、それにより子どもの健全育成に寄与することを目的とする。</p> <p>[概 要] 2019年度・2020年度の近畿地区子ども会連絡協議会会長に就任年4回程度、会長・事務局長会議及び地区推進研究会会議を開催 分担金府県年間50,000円、指定都市10,000円、助成金その他の収入を以て構成する。(コロナ禍の関係で2021年度も大阪府が会長及び事務局担当)</p>
5) 安全普及啓発活動	<p>[目 的] 「子ども会KYT」「防災」「交通安全」「スポーツ競技の練習や大会での事故防止」に重きを置き、行政及び関係諸団体とも連携を取り、県・市子連、単位子ども会の安全普及啓発活動の一層の充実を進める。</p> <p>[概 要] ・子ども会啓発初級指導者養成講習会は各都道府県・指定都市子ども会連合組織が実施 ・中級指導者講習会は各地区(ブロック)子ども会組織が実施、講師は地区の上級指導者が指導する。 ・上級指導者講習会は全子連が開催(講師謝金年間初級2万円、中級4万円、全子連が補助)、上記講師謝礼補助以外に4つに関する安全普及啓発活動に要した実費(10万円を限度)の補助金を全子連が支給する。</p>

6)近畿地区子ども会大会	<p>[目 的] 本大会では、児童、リーダー、指導者、育成者、行政、企業などの関係者が一同に会し、夢のある地域に向けて、子ども会の未来を探る。</p> <p>[概 要] 実施時期： 2021年11月27日(土)～11月28日(日)          実施場所： 和歌山市内(11/27:ホテルグランヴィア和歌山、11/28:ビッグ愛)          ※育成者、指導者、ユース、JL、地域の子どもや賛同企業、団体、行政など関係者が一堂に集うことで、出会いを演出する。また、通常永年育成者のみの顕彰を、単位子ども会に枠を広げる。さらに、子ども会の間接関係者(非会員の大人・子ども)を呼び込むことで大会を盛り上げる。そのための広報に努める。</p>
7)参加体験型まちあるき (育成者支援)	<p>[目 的] 単位子ども会で「まちあるきシート」を持ち、身近な町のお宝(ひと、もの、ことから、自然など)を探すまち歩きです。感性を養い、自分の町の良さを発見し、子ども達のふるさと意識を醸成します。さらに町の人にインタビューをしかけることで、地域のつながりを再構築するとともに、地域における子ども会の認知につなげます。</p> <p>2021年度は取り組み易い方法を考えて、参加各府県担当者が実体験を重ね、本格導入への道筋をつける予定です。</p>

### 3. こども会に関する調査研究及び資料の発行

事 業 名	内 容
1)「こども会大阪」の発行 (社会福祉法人大阪府共同 募金会からの配分申請予定)	<p>[目 的] こども会育成者・指導者に各種情報を提供し、こども会活動の推進に寄与するため、機関誌「こども会大阪」を発行する。          主な記事内容は次のとおり。</p> <p>[概 要] (1)こども会活動及びジュニアリーダー活動の事例紹介          (2)こども会活動の現状と課題分析          (3)プログラム展開のアドバイス          (4)ブロック交歓会・研修会の事業紹介          (5)当連合会の主催するこども会大会等の紹介</p> <p>発行様式： A4判4頁(年1回は8頁)各10,000部発行(カラー印刷)          実施時期： 年間4回発行(6・9・12・3月)          配布対象： こども会育成者・指導者及び公共施設          編 集： こども会関係者等から数名の編集委員を組織し、編集会議をもって発行作業にあたる。          編集会議： 年3回程度実施予定</p>
2)大阪府こども会基本調査 及び「データブック」の発行	<p>[目 的] 大阪府内のこども会の実情を知るため、こども会の会員数や事業等について市町こ連を通じて調査を実施し、こども会活動の運営に活用するため、その結果を「大阪府こども会データブック」として発行し、関係機関団体等に配布する。</p> <p>[概 要] 発行様式： A4判約40頁、400部発行          実施時期： 年1回2月頃発行予定(データ調査8月、回収集計9月～11月)          調査対象： 大阪府内のこども会          配 布 先： 各市町こども会育成団体及び関係行政・団体等</p>

3)ブロック交歓会	<p>[内 容] 大阪府内の7ブロックがブロック単位で実施することも会スポーツ大会(駅伝大会、ソフトボール大会、グランドゴルフ大会等)の事業に、効果的な成果を上げるため共催分担金(事業費の1/2以下、かつ40,000円以内)を交付する。</p> <p>実施期間:年1回実施</p> <p>対 象:各ブロック単位</p>
4)ブロック研修会	<p>[内 容] 大阪府内の7ブロックがブロック単位で実施することも会の育成・指導上の研修会事業に、効果的な成果を上げるため共催分担金(事業費1/2以下、かつ40,000円以内)を交付する。</p> <p>実施期間:年1回実施</p> <p>対 象:各ブロック単位</p>
5)講師の派遣	<p>[内 容] 子ども会活動振興及び育成者支援のため各ブロック、市町こ連の主催する研修会や研究会に派遣する。</p> <p>[概 要] 講 師:当連合会専門員、外部講師等</p> <p>相 談: ジュニアリーダー育成、各種研修会の講師</p>

#### 4. 功労者顕彰事業

事 業 名	内 容
1)大阪府子ども会表彰式 (大阪府との共催事業)	<p>[目 的] 子ども会活動の発展に貢献した子ども会並びに指導者・育成者(個人及び団体)を表彰する。</p> <p>[概 要] 実施時期: 2022年1月23日(日)14時~15時で開催調整中 実施場所 :ホテルプリムローズ大阪</p> <p>「内 容」 (1)大阪府優良子ども会表彰(知事表彰)大阪府担当 (2)一般財団法人大阪府子ども会育成連合会表彰 (個人・団体育成者表彰)府こ連担当 (3)公益社団法人全国子ども会連合会表彰伝達</p>
2)その他の顕彰	<p>「内 容」 (1)公益社団法人全国子ども会連合会表彰 (2)近畿地区子ども会連絡協議会表彰 (3)憲法記念日大阪府知事表彰 (4)青少年育成大阪府民会議表彰 (5)文化の日の教育功労表彰(教育委員会表彰) 、その他</p>

5. その他

事業名	内容
1)アウトドアチャレンジ 実行委員会	<p>[内 容] 大阪府内11の青少年団体が集まってアウトドアフェス「チャレンジ広場」を運営します。</p> <p>*参加団体 (一財)大阪府こども会育成連合会 (一社)ガールスカウト大阪府連盟・(一財)大阪市青少年活動協会 (公財)大阪YMCA・大阪府キャンプ協会・日本ボーイスカウト連盟 (一財)大阪府青少年活動財団・NPO法人ナック・(公財)大阪YWCA 大阪市子ども会育成連合協議会・(一財)大阪ボーイスカウト振興協会</p>
2)市町こ連会長会議	<p>[内 容] 府こ連2020年度事業報告・決算報告及び2021年度事業計画・予算等について報告し、府こ連運営全般について意見を聞かせていただき府こ連運営に反映していく。(2021年度前半での開催は見送り、関係書類送付を検討中)</p> <p>例) 現況解散中の市町村こ連に於ける単位子ども会及び市町村こ連に属していない単位こども会の安全共済会への加入依頼。</p>
3)事務担当者研修 (近畿地区ブロック) 全子連主催	<p>[内 容] 事務全般について、効率の良い事務を遂行できるように研鑽を積める内容とします。</p> <p>開催単位： 地区別に開催する。</p> <p>日 時： 平成2021年4月14日(水) 13:30～15:30</p> <p>場 所： オンライン会議</p> <p>詳 細： (1)共済事業研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の運営に関する説明</li> <li>・ネット申込システムについて</li> <li>・共済金支払い状況</li> <li>・その他保険について</li> </ul> <p>(2)自転車保険について</p> <p>(3)令和3年度全子連の事業について</p> <p>(4)コンプライアンス研修</p> <p>(5)その他</p>
4)賛助会員制度	<p>[内 容] 当連合会は時代の要請に応えるべく、「地域でこどもを育てよう！」をモットーに地域の関係機関・団体との連携を強めこども会活動の活性化を図り、事業の推進に努力を重ね「公益目的事業」「安全共済会事業」の充実を図るため賛助会員の制度を設けています。(賛助会費の徴収)</p> <p>賛助会員規程に基づき実施 (会費の口数については制限なし)</p> <p>(1)個人会員 一口 5千円 / 年間</p> <p>(2)法人会費 一口 1万円 / 年間</p> <p>※長きにわたり見直しておりませんが、このままで何もせずにいると年々会員数、会費ともに減少の一途をたどります。</p> <p>まず周辺から見直し、機会を見つけて広報をするように努めて参ります。</p>

## 安全共済会事業

### 1. 安全思想の普及に関する事業

事業名	内 容
1) 安全教育推進研修会	<p>[目 的] 安全な子ども会活動を行うため、安全教育に関する研修会を実施する。 実施時期： 年1回 開催（2021年度前半での開催は見送り、後半で検討）</p> <p>[概 要] 対 象 者： 子ども会指導者、育成者、役員、事務局担当者 募集方法： 市町こ連を通じてEメールにて開催案内し、当連合会ホームページでの開催要項の案内</p>
2) 安全教育普及啓発事業	<p>[目 的] 子ども会活動中のケガを未然に防ぐことを主眼に「KYT(危険予知トレーニング)」に取り組み、行政及び関係諸団体とも連携の上、市町こ連、単位子ども会の安全普及啓発活動の一層の充実を進める。</p> <p>[概 要] まずは指導者・育成者の方々に子ども会啓発「初級指導者養成講習会」を毎年開催し、資格取得はもちろんですが各地の単位子ども会においてより安全な活動が実施されるように支援します。その先に中級・上級と資格取得をされる方々が増えて行けば、子ども会活動をより安全な方向へ導くことができます。</p>
3) 安全共済会事業の広報	<p>[目 的] 日頃の子ども会活動の実施において、育成者・指導者に対して安全な活動の周知徹底を図るため、広報事業を実施する。</p> <p>[概 要] 実施時期： 通年 対 象 者： 大阪府内の地域子ども会会員及び育成者、指導者、役員 広報の方法： 市町子ども会育成団体(市町こ連)を通じてちらしを配布、当連合会ホームページで案内する。</p>
4) 大阪府子ども会大会 安全教育普及モデル事業 「ドッジビー大会」	<p>[目 的] 子ども会活動の活性化と安全なスポーツ活動の運営を考慮しながら、安全教育普及モデル事業としてスポーツ大会を実施する。 2015年度より大阪府子ども会大会の冠をスポーツ大会(ドッジビー)に付けて毎年開催中。 ※2020年度第6回大会は中止（2021年度は第7回目の大会）</p> <p>[概 要] 実施時期： 2022年2月26日(土) 交野市いきいき交野にて 対 象 者： 大阪府内子ども会会員(各ブロックより低学年・高学年推薦) 募集方法： 事業運営委員会にて決定 運営方法： 募集方法と同じく事業運営委員会にて決定</p>

## 2. 共済会事業

事業名	内 容
1)安全共済会加入説明	<p>[概 要] 従来の実施時期： 年1回実施、年度末2月中旬に実施            対象者： 市町こ連事務担当者・安全共済会担当者(オンライン開催検討)            ※オンライン開催が困難な場合は説明会を開催せず、資料送付等を検討します。</p>
2)共済金給付	<p>[目 的] こども会活動中に発生した事故に対して、共済金を支給する。</p> <p>[概 要] 共 済 期 間： 4月1日から翌年3月31日までの1年間            対 象 者： 府下のこども会会員で当連合会安全共済会に加入した被共済者            募 集 方 法： 市町こ連を通じて募集する。            掛 金： 一人当たり年額350円(10月1日以降に加入の場合300円)                      内訳：共済掛金年額200円、その他会費150円            共済金の例： 傷病共済金、8等級8,000円～1等級60,000円                              死亡600万円、後遺障害7万円～600万円、            給付の決定： 安全共済会審査会を開催し、給付申請の審査                              (審査委員会年6回開催、他の月は審査部会を開催)                              ※オンライン審査又はメールや書面での審査を原則とします。</p>